

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第125号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F

TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

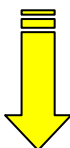
2013年4月号

【 今月のコンテンツ 】

- かながわ異グ連活動報告 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告(その9) 2
- かながわ異グ連プロジェクト成功事例 芝 忠 3
- ふくおか会計事務所【 連載1 】公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹・・・4
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 5
- 産学官交流サロンコーナー 6
- 事務局コーナー 6

【 かながわ異グ連活動報告 】

- ◆ かながわ異グ連名称変更案について⇒異業種連携推進協議会（案）6月総会にて案を提出
- ◆ 会費体系の見直し、異グ連事務所経費について
- ◆ 部会制事業化推進体制の整備 ⇒ 航空宇宙、エネルギー、環境、福祉、医療、サービス、商業、委託事業、相談、公的補助、東日本災害支援、地域連携、全国組織、交流など
- ◆ 電話回線の光通信化及びインターネット環境の整備、ホームページの拡充



<電話回線の変更案内>

通信回線の整備に伴い、かながわ異グ連の直通回線の電話番号が変更になりましたのでお知らせします。(変更は3月6日より)

FAX と電話が兼用になりました。

045 - 651 - 8883 ⇒ 045 - 228 - 7331

従来の633-5142 もしばらくは使えますが、近いうちに廃止します

★「新事業・新技術支援フォーラム」は2012年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告(その9)

異グ連事務局 松井利夫

第18回フォーラムは平成24年11月20日に開催。最初に(株)ユニメーションシステムの伊藤氏から11月13日に中小企業センターで開催した「大都市災害と河川・冠水警報システムセミナー」の報告から始まった。セミナーには自治体・支援機関14部署から27名、大学関係者2名、中小企業者14名、計43名の方が参加。セミナーでは、①横浜国大黒川先生の「自然災害の猛威による河川・冠水リスクの増大」、②横浜市道路局河川部河川管理課長井上一重氏の「浸水拠点警報システム」、③横浜市道路局道路部維持課長永瀬一典氏の「横浜市における道路冠水への取り組み」、と題する三つの講演が行われたが、芝氏からは「今回は地方自治体を対象に一企業の販路開拓のためにセミナーを実施したが、素人が聞いても面白かった。」との感想が述べられた。

次は、日本プラネットエスティ(株)の荒川取締役から、「PLC」について説明が行われた。

荒川氏からは、「PLC」とは、Power Line Communication のことであり、今回開発した製品は通信距離が長く、通信障害に心配の少ない低速のPCLであるとのこと。PLC 火災通報器の場合、大がかりの設備を必要とせず、コンセントに差し込むだけで、どの部屋にいても火災がどこで発生したか分かるような仕組みになっている。更に、防犯システムや介護システム、インターホーン機能の設置等も可能であり、価格は、一部屋15,000～18,000円/セットであるとのこと。今は韓国で作っているが新しい会社を起こしてメイドインジャパンとして一貫作業による生産を考えているが、基板加工が出来る日本の会社を探しているので紹介して欲しい。発展途上の製品なので皆様のご協力をお願いしたいとのことであった。この後、いろいろと質問や基板加工の会社紹介等があった。次に、鶴野氏からは、「スターリングエンジンは今年中に世間に出したいと思っている」と発言あり。石川氏からは、「再生PETメッシュシート」の製造その後について説明があった。平成25年5月までに1m幅、長さ600mのシートを納めなければならないが、その後改良中とのこと。鈴木氏からは、秋田の企業が風車を30基建設するというニュースがあるが、二重反転風車を使用すれば20%のコスト低減が可能であるからこの会社の手伝をしたいと思っている、と発言があった。また、NHKでTV放映された「エネルギーコストの挑戦」を収録したDVDの紹介があった。

第19回フォーラムは平成24年12月18日に開催。最初に、(株)クマザキエイムの熊崎社長より、「電子黒板」の説明が行われた。熊崎氏は、デモ用32インチの電子黒板を操作しながら機能の説明や企業への売り込みの苦労話をされた。この後、メンバーから意見や質問などが述べられた。意見の中には、「売れているものが良いものだ。良いものは売れると思うのは違う。」とか、「今まで売り込んだ先の成功事例を作っておく必要がある。」などの意見があった。

次に、鶴野氏から、スターリングエンジンは本体が完成したが、今は小さな部品待ちである。今年中に完成か、との発言。早川氏からは、「身近な環境と健康」に関して20年間取り組んでいるが、来年2月から「“ご存知ですか”シリーズ」のDVD収録予定、との発言があった。鈴木氏からは前回紹介のあった「エネルギーコストの挑戦」というDVDの映像を再現し見学した。石川氏からは、「再生PETメッシュシート」の製造の目途がついたことなどが報告された。



再生PETメッシュシートについて語る石川氏



スターリングエンジン模型起動中

【 かながわ異グ連プロジェクト成功事例 】

自治体相手の市場開拓—県内 165 箇所に案内と報告 河川・冠水警報システム普及作戦



昨年 11 月 13 日、「大都市災害と河川・冠水警報システムセミナー」を異グ連が開催しました。神奈川県産業振興センターの「産学交流サロン」事業の支援を受けてですが、狙いは中小企業の販路開拓支援にありました。一般に「相談事項」の過半は、自分の商品や技術の売り先を探したいというのですが、簡単に探せるなら苦労はしません。かつて「販売研究会」で全国の異業種交流商品の販売動向の調査をしたこともありますし、販路開拓支援の「商談会グループ」を設立したり、既存の異業種グループに商社を入会させたこともあります。また筆者が理事長を兼ねている「サポートクラブ友の会」は数千人の個人会員を擁し、元商社の幹部や、百貨店の元バイヤーだとか、鉄道の構内店のバイヤーの経験のある人など多彩な人材がおり、関連会社も人材派遣会社など 10 数社を抱えていますので、度々商品販売の評価や販路支援の相談を行ないましたが、必ずしも大きな成果があったわけではありません。やはり商品そのものの値打ちや販売方法が課題です。

今回の警報システムは PR 先が河川や道路行政を担当する県内自治体相手なので、もしかしたら「異グ連」の特徴が発揮できるかもしれないと考え挑戦しました。「警報システム」そのものは、橋の下の窪んでいる道路に急速に水が浸水・上昇し走行中の車が事故に遭うのを事前に水位上昇を検知して周辺住民や行政に警報するシステムです。河川の場合も上流で雨が降り、急激な増水により、遊んでいた子供が流されないよう、周辺に大音量で警報するというものです。開発した(株)ユニメーションシステムの技術はこの検知と通信システムにあり、すでに横浜市内 16 箇所に据え付けられています。

最近の大都市災害の一部として、水害による危険性が増しており、地下空間も危険箇所となっていますし、地下に置かれた動力システムが機能しなくなると大災害の発生に繋がることは、フクシマ事故をみても分かります。東南アジアなど途上国においても海や内陸河川による被害が増大しており、日本の技術援助が期待されています。

セミナー当日は、前半が横浜国大の黒川教授によるタイやベトナムの実例による防災の重要性と、ユニメーションシステムの適応可能性、後半が、横浜市の 2 人の担当課長らによる実際の設置と災害実例が報告され、非常に有益でした。参加者は 43 人でしたが、自治体関係者が多く、実機の展示もあり、活発な質疑が交わされました。終了後県内の自治体から、早速、予算がらみの照会や、全国各地からの実地見学などが相次いでおります。セミナー開催にあたっては、県内の関係部署、国・県・市町村 165 箇所に案内を送付、筆者自身も数市の担当部署に直接伺い PR しました。現職の市の担当課長さんなどが、実質、1 企業のためのセミナー講師を快諾していただいたのも、テーマが社会性を持っているだけでなく、異グ連主催だったからと分析しています。報告内容がそれぞれ優れているので、「報告書」を作成することを思いつき、今年になり、5 頁の報告書を作成、やはり県内 165 箇所に送付しました。2 月のテクニカルショーや関係展示会でも配布しています。今年度から、来年度にかけてかなりの採用が期待されます。

さらに、黒川教授のお声がかりで、JICA がらみのベトナムダナン地域支援の補助事業にもエントリーしており、横浜市のダナン連携と共同して進みつつあります。一気に国際化の道が開けつつあります。もとよりシステムそのものが有効性を持っているわけですが、われわれ異グ連の持ち味として行政関連に近いところで仕事をしていますので、自治体等への働きかけが比較的やりやすいという面があります。また相手側も実際に話を聴いていただきやすいということもあります。年度末には成約例を報告できると思います。同社は、異グ連のプロジェクトである「新事業・新技術支援フォーラム」「海老名サロン」の参加メンバーであり、そのあたりの活動から、本件セミナーの着想が生まれたのも重要なかわりと言えます。異グ連活動の成功事例の一つとして報告させていただきました。

かながわ異グ連：広報の宗和です。

前回まで社会保険労務関連についてオフィス架け橋の松田氏より様々な情報を頂いておりました。今後、消費税

の問題をはじめその他、大幅な税務の変更が予想されます。そこで3月号でも告知をしましたように、この度税理士の先生にお願いして皆様の活動に役立つ情報を提供して頂くことになりましたのでここに紹介します。

<プロフィール>



ふくおか会計事務所
公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹



兵庫県明石市生まれ（昭和51年生）、神奈川県横須賀市育ちの36歳。
関東学院高等学校卒業後、中央大学商学部に進学、平成12年から公認会計士として上場企業を中心とした監査業務に従事。その後、別会社で事業再生、M&A、相続・事業承継等の税務コンサルティング業務に従事し現在は、税理士法人への転職を経て平成24年9月より横浜市都筑区で独立開業されています。主に事業承継・事業再生に関する業務を行っており、主な著書に以下のものがあります。

「法人税の実務 Q&A シリーズ 組織再編」中央経済社（共著）

「役員の分掌変更により支払われた役員退職給与と退職の事実の認定」公認会計士協会業務資料集 第49号

「欠損子会社に対する過大な増資払込みの寄附金該当性」公認会計士協会業務資料集 第48号

趣味は野球観戦（ペイスターズファン）、スキー、キャンプ等だそうです。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.tax-fukuoka.com/about/index.html>

<< ご挨拶 >>

今回から連載を担当させて頂くこととなりました福岡雅樹と申します。
税務・会計を中心として、皆様のお役に立つ情報をお送りできるよう努めますので、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

【 連載 その1 】

【消費税の引き上げ時期】

第1回目は、消費税率引き上げについてお伝えします。平成24年8月22日に公布された改正消費税法は、原則として平成26年4月1日から施行され、消費税率が8%となります（平成27年10月1日以後より10%）。特別な規定があるものを除き、平成26年4月1日以後の取引について新しい税率が適用されます。一方、施行日前に係る消費税については従来の税率（5%）によることとされています。

【経過措置】

ただし、改正消費税法の附則では、（1）旅客運賃等に関する経過措置、（2）電気料金等に関する経過措置、（3）工事の請負等に関する経過措置、（4）資産の貸付けに関する経過措置、（5）役務の提供に関する経過措置などが盛り込まれています。

例えば、（1）旅客運賃等に関する経過措置により、平成26年4月1日以後に搭乗する飛行機の搭乗券であっても、平成26年3月31日までに購入されたものについては現行税率の5%のままとされています。また、（5）工事の請負等に関する経過措置により、平成25年9月30日までに締結した契約に基づく建物建築工事であれば、完成した建物の引渡し平成26年4月1日以後になるものであっても税率は5%のままとなります。ただし、平成25年10月1日以後にその契約金額が増額された場合の増額部分については、経過措置の対象とはならず8%の税率が適用されます。

このように上記の（1）～（5）に該当する場合、いつの取引より8%の税率を適用するかという点が複雑ですので、このような取引がある際には、ご注意ください。

【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】

まんてんプロジェクト定例会のご案内

1. 開催日時：2013年(平成25年)4月24日(水) 13時10分～
2. 会 場：神奈川中小企業センター13F 第3会議室 (横浜市中区尾上町5-80)
3. 参 加 費：無料(会員) 3,000円(非会員)
4. 例会次第 13時10分～13時20分 講演終了後、懇親会：17時15分～ 会費 3,500円(当日集金)

【講 演】

- 「高耐波性水上飛行機の開発」 水上飛行機開発事業協同組合名誉理事 桜井 達美 氏 13時20分～
- 「切くずの話し」 (元)横浜国大教授 新井技術・教育研究所 新井 実 氏 14時20分～
- 「高付加価値を創出するエンドミル加工と切削工具の国際標準」
日進工具(株) 技術顧問 田中 祐弼 氏 15時30分～16時50分

問合わせ：まんてんプロジェクト事務局 森田皓子

〒231-0063 横浜市中区花咲町2-66 桜木町駅前ビル8階 JASPA(株)内 (TEL:045-251-1200)

○ 参加のお申し込みはFAXまたはEmailでお願いします。

○ FAX:045-251-1204 Email:c-morita@jaspa.co.jp

第135回・日韓ビジネス協議会

高橋 導徳

4月度の協議会は総会として開催いたします。

- 【日 時】2013年4月24日(水) 午後4時00分～5時15分 協議会 *午後5時30分～7時30分懇親会
【場 所】神奈川中小企業センタービル5階会議室、かながわ異業種交流センター (異業種グループ連絡会議)
TEL:045-633-5142
*総会後の懇親会の場所:「だんまや水産」横浜市中区花咲町1-26 TEL045-231-2239
【会 費】 1,000円、懇親会費2,000円

特別講師 異グ連 理事 瀧澤 清氏 * 演題 「グローバル化に対応する中小製造業」

<講演の概要>

中小製造業においてもグローバル化の波は、否応なしに押し寄せている。その対応策として海外展開が進めているが、今回の調査から見ると自社技術力を背景に国内でガンバル企業が想像以上に多くその一端を紹介する。

【 西湘サロン会場変更のお知らせ 】

- 【会 場】 日本生命小田原ビル4階会議室 (小田原市本町1-4-5)
(小田原駅東口より徒歩10分、小田原郵便局より少し先です。同ビル1階ガレージ右奥の入口をご利用下さい。ただし、お車でのご参加はご遠慮願います。)

産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	海老名サロン 第17回	西湘サロン 第44回	三浦半島経済人サロン 第56回	神奈川新産学公交流 第55回 サロン横浜
日程	5月24日(金) 15:00～	5月13日(月) 18:00～20:00 開場は17:30～	5月31日(金) 18:00～20:30 開場は17:30～	4月17日(水) 18:00～19:30 19:40～交流会
場所	産業技術センター2F 2-6講和室	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先	046-235-6661	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	「お金のかからない元 気のでるまちおこし」 神奈川県産業労働局 観光商業部商業流通課 副主幹 鈴木 博明氏 参加費:2,000円	「絶対知っておきたい最新 医療情報」 医療法人 木内医院 医師・医学博士 清水 昭男 氏 参加費:1,000円	「アジアでのモノづくりの 現状と課題」 加賀電子(株)非常勤顧問 中小企業診断士 山本 俊夫 氏 参加費:1,000円	「産業Naviを活用した販 路拡大策」 財団法人:神奈川県経営者 福祉振興財団、企画事業部 高田 正基 氏 参加費:1,000円

尾上町サロン 4月19日(金) 5月17日(金) (17:15～19:30) 神奈川中小企業センター5階 異グ連事務所
原則第一第三金曜日 参加費:1,000円

事務局のコーナー

皆さんこんにちは。桜の花もあつという間に散り、草木もグングン成長しています。この草木の様に私達もグングン成長出来ればという事なすね。ここのところ、急激な円安により株価も上昇。百貨店なども高額品が売れているとか・・・しかし、実態がともなっているというわけでもなく、どちらかという期待を込めた消費者意識のところが大きいようです。ようやくTTPも前進し、今後ますますグローバル化が進んでいくことでしょう。

この大きな風に負けない戦略や思考が企業にとって大切なのは言うまでもありません。今や大手企業においてもうかうかしてはいられません。ますますスピード感が求められる時代へと変化していくことでしょう。今後も異グ連では多くの皆様に有益な情報を提供して参りたいと思います。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」となりますのでお気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤村田和彦【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①菊地(芝) ③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)